

福祉あがの

令和5年7月14日発行

発行：社会福祉法人
阿賀野市社会福祉協議会

聴き上手のコツを知ろう



2月27日（月）、京和荘にてサロンボランティア研修会を開催しました。

講師に、南雲陽子様（オフィス・エヌ代表）を迎え、「聴き上手のコツを知ろう～みんなが、だれかのゲートキーパー*～」と題して講演しました。

会場に集まった、ボランティアはじめ、民生委員、健康推進員、テーマに関心のある皆さんと、聴くときの基本態度とコツ、“うつ”と心の健康、そして、ゲートキーパーの役割などを共有しました。

※「ゲートキーパー」とは、自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声を掛け、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることのできる人。「命の門番」とも位置付けられる人（厚労省ホームページより）

研修の中で、お隣とペアになり、話す・聴くを交互に体験しました（写真）。ただし、聴く人は、相手の方を向き、表情豊かに傾聴する場合と、うなずきもせず無関心に聞く役をします。話す人の気持ちが、聴く人の態度で大きく変わってしまうことを実感することができました。

普段から話を聴くことに慣れている参加者も多い中、講師の話と体験により、いつもの「聴く」を再評価する機会になりました。



この研修会は、市役所健康推進課と社会福祉協議会が連携して実施しました。

令和5年度 阿賀野市社会福祉協議会事業計画・収支予算

事業計画

基本理念

市民の主体的参加と協働により「お互いさま」といえる「共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を推進します。

基本方針

国が進める地域共生社会とは、「地域に暮らすすべての人びとがそれぞれに役割をもちながらともに支え合い、住民一人ひとりの暮らしと生きがい、地域をともに創っていく社会」とされています。

この地域共生社会では、地域力の強化と包括的な支援体制の整備が不可欠となっておりますが、これは専門職による伴走支援だけでなく、より身近な地域における住民同士の日頃の見守りが、社会との継続的なつながりになると言われています。

「感染防止」と「社会福祉活動維持」の両立を目指すことを基本的な考え方とし、地域住民等による福祉活動・ボランティア活動の継続・推進を図ります。一昨年度から実施している災害ボランティア活動に対する啓発や平時から様々なネットワークとの関係の構築を図ります。

令和4年5月に開設した児童発達支援センターでは、地域連携、地域ネットワークの中核機関として発達の気になるお子さん、育てにくいお子さんなどが適切な支援を受けられるよう、関係機関等と連携を図りながら重層的に支援を行います。

日常生活自立支援事業等により地域の権利擁護支援を必要とする人の相談支援を行うとともに成年後見制度での法人後見にも取り組んでいきます。

また、社協の事業の経営環境や状況が年々厳しさを増すなか、自主事業である介護・障害福祉サービスを経営する意義を確認しながら、経営基盤の強化に努めます。

これらから、地域共生社会の実現にむけて「協働の中核」を担う存在になれるよう、社協の総合力の向上と組織・事業基盤の強化にむけて努めてまいります。

重点事項

1. 住民主体による参加型の地域福祉サービスのシステム構築
2. 広く関係機関との連携を図り、生活困窮者への包括的・継続的な支援強化
3. ボランティア活動の活性化と人材育成
4. 災害ボランティア活動の啓発
5. 介護保険サービス、障害福祉サービスの充実
6. 児童発達支援センターの充実
7. 阿賀野市指定管理者制度事業の推進
 - (1) 阿賀野市デイサービスセンター5か所
 - (2) 保健福祉センター「京和荘」(複合型施設)
8. 成年後見制度事業の実施(法人後見事業)



収支予算

科 目		予 算 (円)	科 目		予 算 (円)
収 入	会費収入	4,295,000	支 出	人件費支出	395,567,000
	寄付金収入	49,000		事業費支出	102,138,000
	経常経費補助金収入	74,479,000		事務費支出	43,466,000
	受託金収入	37,513,000		就労支援事業費支出	4,105,000
	貸付事業収入	500,000		貸付事業支出	500,000
	事業収入	541,000		助成金支出	463,000
	介護保険事業収入	303,665,000		固定資産取得支出	878,000
	就労支援事業収入	4,105,000		ファイナンス・リース債務の返済支出	686,000
	障害福祉サービス等事業収入	102,444,000		積立資産支出	1,000
	その他の事業収入	48,000		その他の活動による支出	16,376,000
	受取利息配当金収入	12,000			
	その他の収入	1,784,000			
	その他の活動による収入	8,170,000			
	収入合計	537,605,000		支出合計	564,180,000
		当期資金収支差額	△ 26,575,000		

令和4年度 阿賀野市社会福祉協議会 事業報告

<法人運営事業サービス区分>

- 会務の運営
理事会（5回）、評議員会（5回）、監事会（4回）、訪問監査（4回）、正副会長会議（4回）、の開催
- 福祉関係者の顕彰
阿賀野市社会福祉協議会会長表彰（21名、2団体）
- 役職員の研修
役員研修（2回）、職員研修（21回、42名参加）
自主研修（0回）
- 自主財源の造成
一般会員 9,167世帯（66.9%）
特別会員 5団体/13口・38施設/54口・7法人/8口
賛助会員 123個人/123口
- 行政機関・関係福祉団体との連絡調整
阿賀野市地域福祉計画並びに地域福祉活動計画を踏まえ「共に生き共につくる福祉社会」の実現のため所轄庁、関係機関、団体の主催する各種委員会・協議会等に出席するなど多職種との連携、連絡協議に努めた。
- 外郭団体への支援
阿賀野市老人クラブ連合会・阿賀野市身体障害福祉協議会・阿賀野市手をつなぐ育成会・阿賀野市連合遺族会の活動支援
- くらしを守る住民活動の推進（虚礼廃止運動推進事業）
無料礼状ハガキの活用（活用者42名、活用枚数548枚）
- 啓発活動の強化
第71回新潟県民福祉大会の参加
社協だより「福祉あがの」の発行、社協広報事業（ホームページ）の実施
- 共同募金活動の強化
実績額 9,717,000円（達成率89%）
- 「地域の集いの場」サロン活動の推進
住民が主体となって行う、地域住民が気軽に立ち寄れる居場所の運営支援
- 災害救援活動の支援
新発田青年会議所との災害時相互協力協定の継続
阿賀野市との災害ボランティアセンターの設置、運営に関する協定の継続
阿賀野市ライオンズクラブとの災害ボランティアセンター支援に関する協定の締結
村上市災害（新潟県北部豪雨）ボランティアセンターに8名の職員を派遣した。

<配食サービス事業サービス区分>

配食サービス事業
（利用者：93名、食数：3,997食 1回平均配食数：安田地区28食 京ヶ瀬3食、水原31食、笹神20食）
おせち料理サービス事業（12/30 84食）

<生活福祉資金サービス区分>

福祉資金
福祉費
（前年度末9件、新規0件、償還完了0件、貸付中9件）
緊急小口資金
（前年度末0件、新規0件、償還完了0件、貸付中0件）
総合支援資金
生活支援費
（前年度末9件、新規0件、償還完了1件、貸付中8件）
一時生活再建費
（前年度末2件、新規0件、償還完了0件、貸付中2件）
離職者支援資金
（前年度末4件、新規0件、償還完了0件、貸付中4件）
特例貸付
緊急小口資金（相談16件、申込5件、決定5件）
総合支援資金（相談16件、申込2件、決定2件）
教育支援資金
教育支援費

（前年度末8件、申込0件、決定0件、償還完了0件、貸付中8件）
就学支援費
（前年度末4件、申込1件、決定1件、償還完了0件、貸付中3件）

<小口資金貸付事業サービス区分>

前年度末貸付件数2件、新規申込3件、償還完了2件、貸付中2件、償還免除0件

<生活困窮者自立支援事業サービス区分>

相談支援、支援調整会議の開催、内部研修の開催など（相談受付件数66件）

<福祉サービス利用支援事業区分>

日常生活自立支援事業の実施（利用者 6名）

<法人後見事業区分>

法人後見事業の実地（利用者 0名）

<ボランティアセンターサービス区分>

ボランティアセンターの開設
ボランティア活動の支援（登録ボランティア 個人656名、58グループ1,105名）

<通所介護事業拠点区分>

デイサービスセンター「むすびの里」（延べ利用者 3,335名）
デイサービスセンター「第二むすびの里」（延べ利用者 9,292名）
デイサービスセンター「第二永寿園」（延べ利用者 5,559名）
デイサービスセンター「第二わかばの里」（延べ利用者 9,345名）
デイサービスセンター「おおむろの丘」（延べ利用者 4,576名）
※基準該当障害者福祉サービス生活介護
デイサービスセンター「むすびの里」（延べ利用者 4名）
デイサービスセンター「第二わかばの里」（延べ利用者 40名）

<居宅介護支援サービス区分>

阿賀野市社協ケアセンター「ぬくもり」（延べ利用者1,300名）

<訪問介護サービス区分>

阿賀野市社協ヘルパーステーション「ぬくもり」（実利用者 307名）
※保険外サービス（利用者 16名）

<障害者居宅介護サービス区分>

自立支援
身体障害者（実利用者 79名）、知的障害者（実利用者 42名）、精神障害者（実利用者 51名）
地域生活支援（実利用者 40名）

<こどものことばとこころの相談室サービス区分>

通所支援（延べ利用者 2,882名）
相談支援（計画相談 204名、モニタリング 373名）

<さくらの会作業所サービス区分>

就労継続支援B型事業の経営（延べ利用者 3,860名）、利用者が個々の能力を伸ばせるよう働く場の提供（自主製品販売活動、外注加工事業、第二わかばの里や相談室の掃除、若葉町草刈りなど）

<地域活動支援事業サービス区分>

地域で暮らす障がいのある方の余暇活動を楽しむ憩いの場の提供（延べ利用者 1,761名）

<京和荘サービス区分>

老人福祉センター（延べ利用者 3,006名）
生きがいセンター（延べ利用者 87名）
公民館（延べ利用者 34,724名）

令和4年度 阿賀野市社会福祉協議会財産目録

【財産目録】

令和5年3月31日現在 (単位:円)

資産・負債の内訳	金額
1、資産の部	
流動資産	
現金預金	149,895,872
事業未収金	59,857,047
未収金	8,381
貯蔵品	106,124
原材料	183,820
立替金	1,115,014
前払金	1,079,044
仮払金	11,300
流動資産計	212,256,602
固定資産	
基本財産	
建物	2
定期預金	4,000,000
基本財産計	4,000,002
その他の固定資産	
建物	4,722,117
構築物	228,595
車輛運搬具	3,258,505
器具及び備品	2,022,235
有形リース資産	2,317,854
長期貸付金	95,000
退職手当積立金預け金	265,853,870
修繕費積立資産	800,000
備品等購入積立資産	500,000
工賃変動積立資金	500,000
設備等整備積立資産	1,000,000
事業運営安定資金積立資産	50,067,133
預託金	113,970
その他の固定資産計	331,479,279
固定資産計	335,479,281
資産合計	547,735,883

資産・負債の内訳	金額
2、負債の部	
流動負債	
事業未払金	24,047,335
1年以内返済リース債務	685,080
未払費用	10,767,260
預り金	213,136
職員預り金	4,449,307
流動負債計	40,162,118
固定負債	
リース債務	2,340,690
退職給付引当金	318,710,800
固定負債計	321,051,490
負債合計	361,213,608
差引純資産	186,522,275



【貸借対照表】

令和5年3月31日現在 (単位:円)

資産の部				負債の部			
科目	当年度末	前年度末	増減	科目	当年度末	前年度末	増減
401 流動資産	212,256,602	232,959,252	△ 20,702,650	411 流動負債	40,162,118	38,534,091	1,628,027
402 固定資産	335,479,281	345,905,202	△ 10,425,921	412 固定負債	321,051,490	330,124,470	△ 9,072,980
				負債の部合計	361,213,608	368,658,561	△ 7,444,953
				純資産の部			
001 基本財産	4,000,002	4,000,002	0	413 基本金	4,000,000	4,000,000	0
				414 基本	0	0	0
				415 国庫補助金等特別積立金	4,790,874	5,459,395	△ 668,521
002 その他の固定資産	331,479,279	341,905,200	△ 10,425,921	416 その他の積立金	55,116,247	55,115,248	999
				417 次期繰越活動増減差額	122,615,154	145,631,250	△ 23,016,096
資産の部合計	547,735,883	578,864,454	△ 31,128,571	純資産の部合計	186,522,275	210,205,893	△ 23,683,618
				負債及び純資産の部合計	547,735,883	578,864,454	△ 31,128,571

※阿賀野市社会福祉協議会ホームページをご覧ください。



令和4年度阿賀野市社会福祉協議会 赤い羽根共同募金助成事業報告



阿賀野市社会福祉協議会では、赤い羽根共同募金より令和4年度の地域福祉推進事業費として5,130,279円の助成を受けましたので、その用途についてご報告いたします。

【高齢者福祉活動費 2,547,000円】

- ふれあい昼食会…………… 223,000円
- 配食サービス事業等…………… 2,324,000円



ふれあい昼食会（道の駅あがのにて）



配食サービス

【児童・青少年健全育成事業費 90,000円】

- ボランティア体験学習支援事業費… 90,000円



視覚障がい者誘導歩行体験



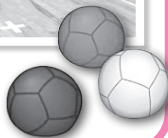
手話体験

【障がい児・者福祉活動費 77,000円】

- 障がい者ふれあい交流会…………… 77,000円



ボッチャ交流会



【住民全般福祉活動費 2,416,279円】

- ボランティア活動支援事業…………… 130,112円
- 県民福祉大会研修事業…………… 31,712円
- 社協機関紙発行事業…………… 301,000円
- ボランティア通信発行事業…………… 750,100円
- 行旅人旅費支援事業…………… 7,000円
- サロン活動推進事業…………… 330,000円
- 地域ささえ愛事業…………… 526,279円
- 介護教室開催事業…………… 50,000円
- 災害対策事業…………… 164,000円
- おうちごはんプロジェクト…………… 126,076円



介護教室（感染症予防）

事業報告 地域ささえ愛事業研修会 「誰もが暮らしやすい地域とは」

2月4日（土）水原公民館「大講堂」にて、講師に有川宏幸様（新潟大学教育学部教授）を迎え、『あなた』と『わたし』の相違（ズレ）を読み解く～自閉スペクトラム症支援の現場から～と題して講演を開催しました。

講義は、対人コミュニケーションの発達から、自閉スペクトラム症の診断、個人差、性差、二次障がいに関すること、自閉スペクトラム症の人たちが対人コミュニケーションや感覚過敏により困っていることなど、抱える状況を理解するための分かりやすい内容でした。

参加者から、これから取り組みそうなこととして、言葉の伝え方を工夫したい。物事の見え方の違いを意識してコミュニケーションを取りたい。相手が困っているところを考えてみる。そのほか、みんな違うのだから、それぞれに適した環境があれば困らない。など意見や感想がありました。

今回は、日頃から自閉スペクトラム症の人と関わりのある人のみではなく、様々な立場の皆さんより参加がありました。「誰もが暮らしやすい地域とは」どんな地域かを、みんなで考える時間になりました。



この事業は赤い羽根共同募金の助成を受け実施しました。

赤い羽根共同募金 感謝状贈呈式・助成金目録交付式



阿賀野市共同募金委員会では、赤い羽根共同募金の仕組みや市民の皆さまよりお寄せいただく募金の使いみちを広く知っていただく機会として、去る6月14日に阿賀野市水原保健センターにおいて『赤い羽根共同募金感謝状贈呈式・助成金目録交付式』を開催しました。

共同募金運動推進のため毎年継続して積極的に協力され、その功績が顕著な11法人へ感謝状が贈られました。

また、昨年の募金運動によりお寄せいただいた募金から、令和5年度に阿賀野市内で実施される社会福祉の向上を目的とする事業助成として、社会福祉協議会、自治会、福祉活動団体、学校へ助成金目録が交付されたのち、助成団体を代表して阿賀野市立水原中学校校長の伊藤先生より謝辞をいただきました。

感謝状贈呈企業（順不同）

株式会社 高橋新聞舗様
 株式会社 光建設様
 有限会社 村秀鬼瓦工房様
 株式会社 クボ製作所様
 株式会社 葵建設工業様
 株式会社 水建業様
 株式会社 今井電友舎様
 株式会社 上松設備様
 ほっかべん阿賀野市役所前店様
 有限会社 遠藤設備工業様
 有限会社 太田自動車様



後列左より 葵建設工業様、遠藤設備工業様、ほっかべん阿賀野市役所前店様、上松設備様

前列左より 光建設様、水建業様、副会長（社協会長）、会長（市長）、高橋新聞舗様、クボ製作所様

<令和4年度共同募金による令和5年度事業費助成団体>（敬称略）

助成種別	助成先	事業名	助成額
地域助成	社会福祉法人阿賀野市社会福祉協議会	配食サービス事業等15事業	6,715,346円
	緑町自治会	災害発生時における高齢者・傷病者等の移動事業	50,000円
	若葉町自治会	若葉町下校時安全パトロール会事業	50,000円
	阿賀野市民生委員児童委員協議会	民生委員児童委員活動事業	505,000円
	NPO法人いきいき健康家族オアシス	阿賀野市なかよし子ども食堂継続事業	50,000円
	阿賀野市老人クラブ連合会	高齢者声かけ運動事業	10,000円
	阿賀野市手話サークルあじさい会	手話の理解を深めるための講演会事業	50,000円
	阿賀野市立安田中学校	社会福祉研究普及事業	46,000円
	阿賀野市立京ヶ瀬中学校	コスモスロード・門松贈呈事業	49,000円
	阿賀野市立水原中学校	地域貢献活動ボランティア事業	50,000円
	阿賀野市立笹神中学校	「はぐろの里」交流活動事業	49,000円
	阿賀野市立安田小学校	地域福祉推進事業	50,000円
	阿賀野市立京ヶ瀬小学校	福祉体験交流活動事業	46,000円
	阿賀野市立堀越小学校	社会福祉活動事業	50,000円
	阿賀野市立水原小学校	瓢湖を核とした学習活動事業	50,000円
	阿賀野市立安野小学校	児童健全育成事業	50,000円
	阿賀野市立神山小学校	福祉教育交流活動事業	38,000円
	阿賀野市立笹岡小学校	児童・青少年健全育成事業	39,000円
	18団体（校）	32事業	7,947,346円



ひとりひとりが福祉のサポーター 令和5年度社協会員(会費)にご協力をお願いします。

阿賀野市社協は、「市民の主体的参加と協働によりお互いさまといえる共に生き共につくる福祉社会を目指すまちづくり」を基本理念として地域福祉活動を推進しています。

活動におけるひとつの財源として、皆さまにご協力をお願いする会費は地域福祉活動を推進する上で貴重な財源であるとともに、市民の皆さまに会費を納めていただくことによって地域の福祉活動に間接的に参加していただくことにもつながります。

ぜひ、社協活動の趣旨にご賛同いただき、会員への加入にご理解とご協力をお願いいたします。
※自治会長様へは、8月1日付の文書にて改めて会費の取りまとめについてお願いする予定です。
※会員に加入することや会費の金額については、決して強制ではなく任意です。

● 社協会員(会費)の種類 ●

一般会員 一世帯 500円	賛助会員(役員・篤志家) 一口 1,000円	特別会員(法人事業所・団体・福祉施設) 一口 3,000円
------------------	---------------------------	----------------------------------

令和4年度社協会費の実績と使い道のお知らせ

会費実績 **4,204,960円**

一般会費	9,167世帯	3,856,960円
賛助会費	123個人	123,000円
特別会費	福祉団体 5団体 福祉施設 7施設 事業所 38事業所	225,000円

主な会費の使い道として

- いきいきサロン推進事業
高齢者や子育て世代の閉じこもりの防止や仲間づくり、生きがいづくりのための活動の支援
- 社会福祉事業功労者表彰式
市内の福祉事業における功労者の表彰
- 地域活動車輛維持費
貸出用マイクロバスの車検代・保険料・整備費等
- 社協機関紙「福祉あがの」発行事業
ホームページ管理運営更新料含む
ホームページアドレス<http://www.agano.net/shakyo/>
- 法人運営費
市社協運営のための人件費以外の事務費と事業費

令和5年度 社会福祉事業功労者表彰式

6月14日(水)、水原保健センターを会場に社会福祉の各分野で
功績のあった皆さんの表彰式が行われました。
表彰を受けられた皆さん、おめでとうございます。



【社会福祉事業功労者表彰】 敬称略、順不同

○民生委員児童委員功労表彰(14名)

和田 幸美	島原 由美子	遠藤 洋一	白根 新一
長谷川 弘子	鏡 渕 信也	村越 裕司	川口 靖彦
佐藤 渉	小笠原 勉	小林 富子	新田 見昭
山口 鉄男	荒木 徳衛		

○社会福祉施設役職員功労表彰(8名)

佐藤 裕介 (福)阿賀北総合福祉協会	渡邊 洋介 (福)阿賀北総合福祉協会
渡邊 歩 (福)阿賀北総合福祉協会	伊東 充 (福)阿賀北総合福祉協会
今津 さとみ (福)阿賀北総合福祉協会	小泉 憲之 (福)阿賀北総合福祉協会
皆川 信博 (福)阿賀北総合福祉協会	小池 仁 (福)阿賀北総合福祉協会

○社会福祉施設・団体優良活動表彰(1団体) あがのお話の会



介護保険事業所の魅力を紹介します

阿賀野市社会福祉協議会では通所介護事業所を5か所、訪問介護事業所を1か所運営しています。

私たちは地域福祉を支える先駆けとして、介護保険制度が始まる前から活動を続けてきました。介護保険制度が始まり、早いもので20年あまりの歳月が流れました。阿賀野市内にも高齢者を支える事業所が増えて、さまざまなサービスを選択できるようになりました。

私たち社会福祉協議会は、皆さんに喜んでいただけるようなサービスを提供できるように努めてまいりました。

ここで私たち社協のサービスの魅力をアピールさせていただくと、

- その1** 通所介護も訪問介護も経験豊富なベテランの職員が多く、いつでも顔なじみの職員が介助します。
- その2** 通所介護施設では寝たままでも、肩まで湯船に入ることができるお風呂があり、どのような方でも対応できる入浴設備が整っています。
- その3** 社協の使命として、地域の皆さんが安心して、ご自宅での生活が長く続けることができるように、在宅介護を支える最後の砦となれるように日々、研鑽を重ねています。

通所介護や訪問介護をご検討の際は、「社協」をお忘れないようどうかよろしくお願いたします。



阿賀野市デイサービスセンター（通所介護事業所）

むすびの里&第二むすびの里	68-5885	第二永寿園	67-4820
第二わかばの里	63-2121	おおむろの丘	62-8950
阿賀野市社協ヘルパーステーションぬくもり（訪問介護事業所）			63-9903



職員募集

（臨時又はパート）若干名

- ① 訪問介護員
- ② 通所介護看護師
- ③ 通所介護員
- ④ 主任介護支援専門員並びに
介護支援専門員

詳細は **電話** でご確認ください。
応募お待ちしております。



連絡先

阿賀野市社会福祉協議会
TEL：0250-67-9203
担当：阿部

この機関紙は社会福祉協議会会費
並びに赤い羽根共同募金助成金で
発行しています。

発行 〒959-2123 新潟県阿賀野市姥ヶ橋669 (阿賀野市役所京ヶ瀬支所内)

社会福祉法人 阿賀野市社会福祉協議会
TEL 0250-67-9203 FAX 0250-67-9204

福祉あがのは、ボランティアグループ「うぐいす会」により音声訳されています。